

府監発第 7 0 号
平成 20 年 10 月 20 日

国土交通省道路局長 様

広島県安芸郡府中町長 和多利義之
(建設部監理課)



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成 20 年 9 月 19 日付け国道企第 37 号で依頼のあったこのことについては、
別紙のとおり提出します。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

広島県府中町

最近の米国サブプライムローン破綻がグローバル化による景気動向でわが国にとって重大な影響しているのは周知の事実であり、景気対策も諸外国を含めた協同歩調が迫られており世界的な金融不安の解消が先決となっています。

道路特定財源の一般財源化に伴う過程の中でも議論されてきましたが、必要な道路財源が安定的に確保されることが前提であり、整備計画を策定するための財源見通しが最重点課題であると考えます。

地方としては、今後の財政見通しの不安要素が大きい中で混沌とした社会情勢を見極めることが大切な要因になっています。

これから来年度予算編成時期にあたり、今後の景気動向に大きく左右されるため先行きの不透明感はぬぐえない状況です。

しかしながら、地方自治の観点から環境に配慮した「安心と安全な暮らし」を守ることとして取り組んでいくことは、都市基盤施設の道路整備を促進していくことが重点施策と考えており、行財政改革等を推進するとともに最大限の努力をしながら取り組んでまいります。

そのような取り組みに応える形として、道路財源を中長期的な展望の中で確保していくことは国の施策で推進されることが重要と考えます。

必要不可欠な道路整備を促進しようとすれば、他施策に影響を及ぼすため行政サービスの低下が懸念されます。

地方が自主的に使える道路財源の充実を図ることは、行政サービスの向上に繋がることになり、住民の暮らしを守るための施策となります。

以上のようなことから、計画的な道路整備が図れる地方の実情に合わせた着実な財源確保の推進を要望いたします。

②—1 地域の現状と抱える課題

広島県府中町

○現状

当町は、広島市中心部に近接する立地条件や道路交通体系の結節拠点性を持っており、その特性を活かしたまちづくりを進めています。快適で安全かつ利便性の高い都市空間を整備しながら、人々が互いに支え合い、誇りと愛着をもって、充実した質の高い暮らしと活動が展開できる魅力を備えた生活空間を創造し、あらゆる側面で豊かさを感じ、「暮らし心地」が実感できる都市の実現を目指しています。

○課題

地方の発展、活性化を図るため、地域間の広域幹線道路の整備促進を進め、また、踏切遮断による交通混雑、渋滞の解消のため鉄道の高架事業を促進し、駅を中心とした交通結節機能の充実が必要です。

環境対策に配慮した道路空間を設置することにより、沿道住民の騒音、振動、大気汚染などを最小限に抑えるとともに、少子高齢化に伴うユニバーサルデザインの観点から安全、安心して社会参加できるバリアフリー構造の形成が必要です。

事業の実施に伴う透明性、信頼性の確保のために、効率性の高い事業への投資を集中させるとともに、目標達成に向けての進捗状況の確認、規格の見直しなどのコスト削減を図ることが必要です。

誰もが安心して居住することのできる災害に強い道路政策を推進し、災害の未然防止、被害の軽減、避難時の安全性の確保などを図るため、総合的・計画的な防災対策の展開が必要です。